

新BSデジタル放送の開始にあたって

本日、BSデジタル放送が、これまでのBS放送用周波数1、3、5、7、9、11、13、15、17と19チャンネルに加えて、21、23チャンネルでも開始されました。これにより、日本に割り当てられたBS放送用周波数はすべて使用され、今後は、ハイビジョン放送を中心とした39番組のBSデジタル放送が、視聴者の皆さまに届けられます。

平成23年6月に施行された新しい放送法で、BS放送は地上放送と並ぶ「基幹放送」と位置づけられました。さらに今回、1～23チャンネルの全番組を視聴者の皆さまにお届けすることでBS放送の基本インフラを担う弊社の責任は、ますます重くなったと考えています。いつ、どのような状況においてもBS放送を継続できるよう万全の体制を整え、弊社に課せられた責任を果たしてまいります。

BSデジタル放送の全開を機に、BS放送はいつそう多彩になり、魅力を増すことでしょう。視聴者の皆さまの生活を豊かにするとともに、災害など非常時には生命や財産を守るため役に立つメディアとして、BS放送は今後も発展していくものと確信しています。

平成24年3月1日

株式会社 放送衛星システム
代表取締役社長 竹中 一夫